

会 議 録

会議の名称		平成28年度第1回つくば市スポーツ推進審議会		
開催日時		平成28年9月27日 開会14:00 閉会16:00		
開催場所		消防本部3階 多目的ホール		
事務局(担当課)		スポーツ振興課		
出席者	委員	阿江通良, 宇木博明, 福田史子, 金谷麻理子, 糸賀睦夫, 石黒澄子, 高島好実, 浜中勝美, 山谷拓志		
	その他	関係課職員20名		
	事務局	栗原市民部長, 上野スポーツ振興課長, 間中課長補佐, 沼尻国体推進室長, 稲葉体育施設企画室長, 酒井係長, 柳田係長, 稲葉係長, 山下主事		
公開・非公開の別		<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部公開	傍聴者数	0人
非公開の場合はその理由				
議題		1 平成27年度つくば市スポーツ推進計画進行管理について 2 平成28年度スポーツ事業等の概要について		
会議録署名人			確定年月日	平成 年 月 日
会議次第	1 開会 2 あいさつ 3 職員紹介 4 議事 5 その他 6 閉会			

<審議内容>

1 開会

2 あいさつ

市民部長あいさつ

阿江委員あいさつ

3 職員紹介

4 議事

(事務局より本日の出席状況及び会議の成立について報告があった。)

(1) 平成27年度つくば市スポーツ推進計画進行管理について

(事務局から、計画の進行管理の目的や評価方法などについての説明後、議長から、原課評価1及び2の取組について説明する旨の提案があったため、順次、説明した。)

高齢福祉課：「高齢者いきいき健康アップ事業」の評価の理由ですが、毎年継続的に参加者100名を募集しているが、100名に達していない。25年度から行っている事業ですが、なかなか継続していただくことが難しいこともありまして、例えば万歩計や活動量計が故障のためやめてしまったりとか、市内8ヶ所にデータを送信する健康ステーションを設けていますが、そこまで行く、データをトラッキングするということが面倒、その他にもいろいろ理由はありますが、継続しない方がでてきてしまっている状況なのでこのような評価にいたしました。

議長：データをとって、データから効果を評価しようというのが大きな狙いですよね。それについてはいかがですか。

高齢福祉課：効果としましては、参加をいただいている方につきましては、例えば医療費が参加をしていない方に比べて医療費の増加が少ないとかそういう結果は27年度当初の検証では出ております。

議長：効果はあるようなので、評価を3にするにはどうしたら良いでしょう。

高齢福祉課：継続参加を促すフォローアップ体制の確立や、健康に関するイベントへの参加促進、事業の内容の充実が必要。やめてしまう方に対してフォローをする体制がとられていないのが現状なので、具体的なフォローアップ体制というのを考えていく必要があると思います。

委員：ただ単に人数とかそういうところではなくて、成果が得られるかどうかというのがすごく大事。成果がこれだけ出るんですよってことをアピールすることで参加する人が増えていくんじゃないかなって思います。いいと思うことはどんどんアピールしていった方が良くないんじゃないでしょうかね。

議長：おっしゃる通りで、例えば医療費がこれだけ減りましたよとかを伝えればモチベーションもあがるのではないかと思います。

高齢福祉課：はい。ありがとうございます。

国際室：「スポーツを通じた国際交流」ということで、原課評価が2になっています。こちらの指標は、参加者に対する外国人の割合ということで目標を3割としております。去年18%、一昨年20%、いろいろと対策をしていますが、まだまだといった状況でございます。今年は、もう少し工夫をしまして、昨年までは会場をセキショウチャレンジスタジアム、クリーンセンターの横でやっていたのですが、みどりの駅の近くの会場に変えてみました。これによって、例えば車を運転できない外国人の方でも公共交通機関を使って参加しやすいような形をとっております。あともう一点、ポスターを改善しました。今までは一枚のポスターに日本語と英語が二段書きになっていて非常に見づらい状況でしたが、日本語と英語という形でそれぞれ作りまして、外国の方にも見やすいポスターにしました。あと広報の時期ですね。例年よりも早くして、募集の方も例年よりも早く進んでいるような状況になっています。以上でございます。

議長：対象はフットサルだけですか。

国際室：フットサルの場合は人数が少なく、コートも手軽にできるというこ

ともありまして、メインではフットサルを行っております。

議長：スポーツを通じた国際交流には、つくばマラソンやリレーカーニバルを入れることはできないか。チームに必ず外国人を入れなきゃいけないとか、そういうことで、参加者を増やすこともできるのかなと思います。

国際室：スポーツ振興課と調整させていただきます。

議長：外国人にもスポーツをしたいけどできない人がいると聞きます。手を差し伸べてあげていただければと思います。

国際室：参考にさせていただきます。

事務局：つくばマラソンにつきまして、今年度より外国人枠を設けまして、外国語で登録できるような形をとっております。

議長：それはすごい良いことだと思います。スポーツツーリズムなどはどうでしょうか。筑波山などの資源を活用した事業も考えたらいかがかなと思います。

「スポーツを支える組織基盤の強化に」につきましてはどうでしょうか？

事務局：つくば市におきましては、つくば市体育協会という団体があります。その団体と連携・協力しています。スポーツ振興課だけでは出来ない部分もありますので、補助金を交付し、スポーツ活動を推進していただいております。

事務局：「市民が参画するスポーツイベントの提供」ということで、「つくばマラソン開催事業」があります。26年度は低い評価でしたが、27年度はマラソンコースの変更をしまして、ランナーの安心・安全を推進しました。またそれに伴って、参加者数も増やすことが出来たということで、評価をあげた事業となっております。

議長：観光物産課の「フットパス空間整備」について説明いただけますか。

観光物産課：フットパスについては、27年度までに4ヶ所コースを設定しております。自然と歴史を感じながら歩くことが出来る道ということでフットパスという名前になっております。現在つくば山麓地区に2コース、北条、平沢地区に1コース、荃崎地区に1コース、4コース設定しております。本年度、

小田地区にもう1コース設定を現在進めておりまして、今年度終了時点で5コースの設定を計画しております。また、設定に合わせましてフットパスのマップを作成して配布をしている状況でございます。

議長：利用者からの意見を聞いたりしたりしていますか？

観光物産課：基本的に自由に歩いて頂く形になっておりますので意見とかは伺ったりはしておりません。

議長：可能であれば、用紙をおいて、意見をうかがうのもいいかなと思います。

観光物産課：コース上アンケートを置く場所がありませんので、検討させていただきます。

議長：この事業もスポーツツーリズムと兼ね合わせればいい方向に行くのかと思います。

観光物産課：そういった点が問題点なのかなと思います。連携しながら広げていく必要があるのかなとは考えております。

議長：北海道には結構外国人がスキーをしに来て観光客が増えている。またアメリカの街にプロ野球のキャンプ地を誘致してツアーなどを行っている。そういう例もあるから、スポーツツーリズムを推進していくのは大切かなと思いました。

観光物産課：スポーツ振興課、健康増進課と連携を計りながら事業を進めていきたいと思っております。

委員：ジオパークとの連携も必要ですね。

観光物産課：なかなか、その区域にルートはありませんが、ジオパーク推進室と連携させていただきます。

公園・施設課：「公園の運動施設の改修及び管理」については、野球場・テニスコートの照明等の修繕やテニスコートの小規模修繕を実施し、施設利用者に対する利便性の向上を図ることができたという成果に対して、テニスコートに限

っては、クラックなどの修繕に対し、利用者からの要望もあり順次直していく計画をしていたが、大規模修繕ということで予算が付きにくく先送りになったため2という評価にしました。しかし、28年度から41年度にかけて改修計画をたて、1年に1か所ずつ修繕し、利用者の方にきちんと使って頂けるような状況にしていしていく予定です。

議長：「総合運動公園等の整備」についてはどうですか？実施しないということですが。

体育施設企画室：総合運動公園基本計画を26年度に策定しまして整備をしようということで、事業を進めておりましたが、その基本計画に対する住民投票が平成27年8月に行われまして反対多数というようなことから白紙撤回、26年度に策定しました基本計画に基づく総合運動公園の整備が白紙ということにとらえております。ただ、つくば市にとりましてスポーツ環境をどのようにしていくなかという中の1つとしましてスポーツ施設の整備充実というのが必要だろうということを我々も考えておりますので、総合運動公園の整備については評価1としていますが今後どういう風に進めていくかということが大事かと思っている次第でありまして、後ほど平成28年度スポーツ事業の概要で詳しく説明させていただきますけども、つくば市全体を捉えたスポーツ環境の整備充実ということで色々やっけていこうと考えております。

委員：総合運動公園の整備について、これを正しく理解している市民は少ないんじゃないかな。行政としても市民にわかってもらう努力をしないと。関係者もよく見ていないんだから。行政は知っている人にわかる資料じゃなくて、反対している人にもわかってもらえる資料を作らないといけないな、大変だと思うけど。

議長：ぜひ今の意見を参考にしてください。

委員：前回の審議会の答申で、総合運動公園のことは整備すべきだといっていますよね。その審議会の意見と重みというのは、行政はどう考えているんです

か。それを考えていただきたい。あとは、あの土地の問題を9月議会で最終の結論を出すとかいう話があったんですが、その結果はどうなったんですか。

委員：議会の方は調査特別委員会というかたちで議長を除く26人が委員として、7回ほど委員会を開催いたしましたけれども、結論としましては、私の個人的な印象なんですけれども、最終的に議会としての方向性は出てこない。各会派から出た意見をまとめ上げたという形で、その中で共通している部分があります。1点目が民意を把握しきれていなかったという反省点。2点目として施設の在り方について再検証を行っていかうという点。これは体育施設ばかりじゃなくて、公共施設も含めたマネジメントも今進めていますので、そういった点も考慮しながら、これからの体育施設の在り方を検討していただきたい。3点目は、広域的な整備も含めて検討してもらう必要があるのではないかという点。ということで、各会派から共通した点をまとめ上げたということです。土地や財源について各会派からいろんな意見がでましたが、最終的に、委員会として、つくば市としてのスポーツ施設、運動公園施設については結論を出すには至らなかったと思います。今後、議会の方からもアンケート調査をするような方向性持っているということも聞いていますし、スポーツ施設の在り方について議会も含めて、市民の皆さまの意見を伺いながら進めていくということになると思います。

委員：施設関係について、荃崎運動公園の野球場を見ましたが、あのグラウンドでは恥ずかしい。担当者も見に行ったほうがいい。一塁側、波打っているんですよ。三塁側も傾斜がついてる。プレイヤーの安全というものを施設は考えていくべきです。あと、つくばの体育施設は暑くても寒くても空調ないんですよ。カピオは文化施設という扱いなので空調ありますが。だから運動公園じゃないけど、そういった施設の整備は必要なんですよ。

委員：今お話がありました、つくばカピオの管理運営事業っていうのは評価4っていうことになっているんですけれども、これ単純に稼働率が高いっていう

ことで4つ評価なんだなっていう風に見受けております。まあこれ課題が書いてないんですけれども。もはや、総合運動公園の体育館ができないっていうことになったんで、つくば市の最大の規模の体育施設、文化振興課の管轄であるっていうことはさっきお伺いしましたけれども、しばらくは、つくば市最大の体育施設として、利用していかなければならない状況になっていると思うんですね。それで文化振興課からスポーツ振興課に管理が移っていればまた改善がなされるのかなって思ったんですが、稼働率が高い評価の反面ですね、そうした課題っていうのがないのが気になっています。意見としては、今言ったように、体育施設という位置付けで、つくば市最大の体育館であるという前提でもう少し改善すべき点があるのではないのかなというところが意見なんですけど、一つこれ質問なんですけれども、カピオの体育館、我々茨城ロボッツも試合でお借りして大変ありがたいと思っているんですけれども、バスケットゴールに関してなんですけど、リンク等の修理が一向に行われていないんですね。この前は試合が30分中断しました。バックボードに関してボロボロの状態が続いてまして、これから B-LEAGUE というプロのリーグが始まって、今シーズン8試合ほどお借りするんですが、実は教育局にも去年改善の要望書を出しているんです。ただ一向に改善されていない。ちょっと理由がわからないので、予算の問題なのか。あと得点板も壊れたままなんです。これはバスケットボールに限らないことだと思いますので、体育施設として、まあこの方針にも体育施設の充実が挙げられている中で、なぜそんなことが起こっているのでしょうかというのが質問なんですけれども。

文化振興課：文化振興課の方でつくばカピオの管理をしているんですけれども、もちろん修繕費が限られているということもありまして、屋根の修理ですとか、ドアの修理といった、施設面の緊急的な方に修繕をしてしまっているという現状がありまして、委員がおっしゃったようなバスケットゴールの方に修繕ができないというのは担当課としても大変心苦しく思っています。今頂いたご意見

につきましては文化振興課に持ち帰りまして、課内で検討させて頂きたいと思
います。

委員：屋根の修理ももちろん大事なんですけど、これから国内最高峰の競技を
やっていくので、ちょっと恥ずかしい状況です、はっきり言って。申し訳ない
ですけれども。11月18日からちょっと試合が始まりますので、そこまでに改善
を要望したいと思っております。もう一つ利用率が高いという観点の中で、や
はりスポーツを見て楽しむという拠点にもしばらく使っていかなければならな
いという状況で、スポーツは見て楽しむ文化をもっと醸成していかなければな
らないという中で、やはり飲食、飲酒がいまだに禁止なんです、これは正直
つくば市はかなり遅れていると思います。我々が今県内でたくさん試合をやっ
ている中で、水戸市では何の問題も疑問もなく許可が下りましたし、日立も今
池野川のアリーナを作っていますけれども、別に何の疑問もなく、飲食飲酒に
ついては許可を下すという話の流れになっているんですね。飲酒ももちろん度
数の高いお酒ではなくて、ビールとかライトアルコールですね、もちろん飲酒
運転の撲滅とか、セットでやっていくのは当然ですが、スポーツを見て楽しむ
という文化が、これからのオリンピックを含めて、高まっていく中で、つくば
市の最大のスポーツを見て楽しむ施設、つくばカピオにおいて、この飲食飲酒
を禁止するというのは、どうなんですかね。

委員：どうでしょう。私は時代がそうなっていると思います。

委員：もちろん条件がないわけではなくて、こぼしたときにはちゃんと拭くで
すとか、ものを壊したとかが発生した場合には当然主催者が責任を持つという
ことが当たり前だと思うんですけれども。行政や指定管理者とは何度も議論し
ていますが、要するにだめな理由を並べるのではなくて、実現するために、何
をクリアにしていけばいいのか、前向きな議論をしていただきたいなって思っ
ています。

議長：今ここではできないのですが、体育施設企画室でつくば市の体育施設の

在り方を検討するために、見識ある方などを集めて話あっていかななくてはなりませんね。今まで意見があった施設の老朽化やそういう実態を挙げて検討してみても、どうかなって思うんですが。

体育施設企画室：体育施設企画室の方で、今年度の事業としていろいろ取り組みをやっておりまして、今現況としましては、既存施設の整備状況ということで、体育施設のみならず、公園・施設課の公園施設、文化振興課のカピオなどの文化施設、それから福祉施設、健康増進施設、様々なスポーツの行える施設を多岐に渡って管理をしている部署の中で稼働しているというところなんですけれども、全体的にスポーツをできる環境の中で、利用状況やどういうところの修理が必要なんだ、修繕費や維持管理費がどれくらいかかっているんだと、いうところまで細かく既存施設の調査を行っているところでもあります。また施設管理ばかりでなく、利用者の視点といたしまして、利用者はどういう風に思っているのか、ということで利用者側のアンケートをすべての施設において行っております。この後話をしようと思ったんですけれども、見るスポーツという視点においても、今後スポーツ環境をどうしていくのか、スポーツ施設ということであるスポーツだけではなくて、見るスポーツというところの視点でも、市民参加のワークショップを行いまして、その中で、するスポーツを視点に置いたスポーツ環境、見るスポーツを視点においたスポーツ環境を、どういう風にしていくべきかというのを市民の方々と議論して行って、ワークショップでそれぞれそういう視点に基づいたスポーツ施設の在り方というのを取りまとめていきましょう、さらにその上の組織としまして、スポーツ環境検討委員会というものを組織しまして、その中でするスポーツ、見るスポーツいうところとしまして、つくば市全体のスポーツ環境をどうしていくべきか、というところを取りまとめて行って、既存スポーツ施設を含み、新設スポーツ施設も含みということでもいろいろ検討していくという今そういう状況であります。

委員：利用者のアンケートっていうのは興行とかをしている側の利用者も含まれるアンケート，要するに我々のところにもアンケートは来るんでしょうか。

体育施設企画室：施設を利用されている茨城ロボッツや体育協会，スポーツ少年団，中体連などのスポーツ団体ともヒアリングというものやらせていただきたいと思いますと思っているところであります。

議長：ありがとうございます。緊急性の高いものから直すとかですね進めていってほしいですね。

委員：カピオの得点板はいろんな団体が困っていると思うんで，急務だと思います。

委員：「スポーツの安全確保」，中学校武道等指導推進のところいいですか。多くの市町村はかなりすすんできているんですけども，つくば市は個人的な関係で専門家や外部の指導者をお願いしている場合が多い。文科省や県などで講習会を受けて，認定を受けた指導者等の登録があるので，学校なり中体連が率先して活用してほしい。個人的なつながりだと先生が変わった途端にわからなくなってしまうということがありますので，ぜひ積極的に活用してほしい。

委員：委員がおっしゃるように，やはり各中学校は保護者を通してとか，習ってる道場の指導者とかそういう関係で，各学校単位で外部指導を依頼していると思うんですね。今言われましたような，文科省などからは，正式な通知は下りてきていないというところですね。正直剣道等武道等をやるところが少ないこともあるんですね。やはり指導者で変わってきますので，正直私はそのシステムを初めて聞きましたので，そういうのを中体連の方も調べたり，連携などもちょっと考えていきたいと思います。

議長：教育指導課どうでしょう。

教育指導課：県の方針に従って，武道を重点的に支援事業があったわけなんですけども，武道に限らず，全体的に指導力の向上ということで，まず子どもの指導につきましては安全性の向上ですね。最近組体操なんかも話題になっていまし

て、まずは児童、生徒の安全確保ですね。そのための講習会等も行っているところですが。また、委員さんからご指摘があった外部指導者については、運動の部活動全体としまして各学校には周知させていただいたところですが。平成28年度は活用が認められております。実績については27年度はなかったというところですが。

委員：武道は国を挙げて推進していて指導者を養成している。県などに問い合わせれば、各市町村の指導者を知らせてくれると思う。そういう制度うまく活用していただきたい。

議長：今スポーツ庁では、指導者の育成を強化している。そういう流れを捉えて、よく見ていくのも大事ですね。

委員：中学校の部活動の外部指導者の扱いというのは、中学校の部活の在り方というか、スポーツを楽しみたい生徒、能力・技術を伸ばして、いい成績をおさめたいという生徒、いろんな生徒がいる中での部活動なので、一概にいい指導者がいるから外部講師をお願いしますというのは難しいところもあるんですね。要は学校の実態をよく理解したうえで指導していただくこと、またはそういう指導者が近隣にいたのであれば、お願いしてみんなで実技講習会に参加するとか、そういうシステムを中体連として考えていきたいと思っております。慎重に選ぶとか、学校側が考えていかなければならないと思っております。

委員：指導者は、学校や顧問の方針に従うのは、鉄則、国などもそのところは徹底して指導している、あくまでもお手伝いだから。それは心配しないでください。

委員：そういう指導があるならありがたいですね。しかし学校サイドは慎重に進めていかなといけないというのがあります。

議長：次につくばりんりんロードの活性化というところで、2がついているんですがどうでしょう。

観光物産課：りんりんロードの活性化ということで、つくば市のレンタサイク

ル事業ということで筑波山地域，筑波山口の関鉄さんをお願いしまして，事業をおこなっております。こちらにつきましては，4月から11月の8カ月間行っており，利用者数が伸び悩んでいるという状況でして，評価といたしましては2をつけさせていただきました。

議長：リピーターはどうなんですか。少ないんですか。

観光物産課：リピーターの方もおられるんですけども，筑波山口というよりは，つくば駅周辺の利用者が多いということで，なかなか筑波山口のほうまで足を運んでいただけないという状況があります。

委員：交通政策課の方で自転車のまちつくばをやっているけれども，そちらとの連携はどうなんですか。交通政策課と連携してPRしていけばいいんじゃないですか。

観光物産課：交通政策課との連携はやっているんですけども，綿密なところにまでは至っていないので，今後取り組んでいこうと思います。

議長：よろしくおねがいします。他の課とも連携してやっていけたらよいと思います。次は，障害者スポーツの推進のための組織の整備に2がついているので，お願いします。

スポーツ振興課：障害者スポーツ推進のための組織の整備ということで評価2をつけさせていただきました。まず，障害者スポーツを実施している障害福祉課を含めて，スポーツ関連部局による連携体制は構築したんですが，実際に障害者スポーツを推進するための具体的な話し合いには及んでいないので，このような評価にさせていただきました。今後スポーツ推進会議を開く予定ですので，障害者スポーツを推進するにあたって，障害福祉課の抱えている課題等を洗い出させていただきまして，関係団体との連携など，障害者スポーツを推進するための体制を取っていきたいと思います。

議長：スポーツに参加したいと思っている障害を持っている人もいるんじゃないですか。そういった希望とかニーズの調査なんかはしているんでしょうか。

障害福祉課どうでしょう。

障害福祉課：具体的に把握しているところには至っていません。スポーツ教室とかは開催させていただいております、それに参加していただいているという状況ですので、今後状況の方を把握していきたいと思います。

委員：県が率先して行っている身体障害者スポーツ大会などがあるじゃないですか。医師会なんかも協力しているわけだからスポーツ振興課などとドッキングさせればもっと輪が大きくなるよ。障害者の団体も参加しているわけだから、その時にデータなどをとってスポーツ振興課にあげればいい。

議長：今パラリンピックで大変盛り上がっているけど、ある意味チャンスなんですね。障害を持っているでもスポーツをしたい人はたくさんいらっしゃるんですね。また、スポーツをする喜びもあるんですね。学校などでうまく取り入れれば、子どもの頃からスポーツをすることが当たり前になると思うんですね。そういうの含めて、障害者と一緒に共生して、同じ様に生活することを考える。それをスポーツを手段としてすべきじゃないかなと思うんです。

委員：各地区には福祉支援センターがあります。そこには養護学校が終わった子ども達や在宅の人たちも来るわけだから。そこで、大学関係者や父兄の人たちも応援しているから、そういう拠点や団体をうまく利用したほうがいい。

議長：国がスポーツ庁をつくったのを機にいろいろやろうとしている。だからつくば市とかは率先してやるべきです。ぜひ障害者スポーツを推進するために、組織を整備し、それをうまく実際につなげるようにしてください。

委員：障害者スポーツ指導員っていうのが、県にございまして、筑波技術大学の先生方が関係して、そういうスポーツ大会を年に5回くらいやっているんですね。だからそちらとの連携なんかも有効なんじゃないかと思うんですね。障害者スポーツのポッチャとかやっていますので。結構そういう指導される方や団体がありますので、お声掛けしていただければ、より広がっていくんじゃないかなって思います。

議長：ありがとうございます。これからみんな一緒にやっていく時代ですから。次はスポーツの日の実施ということで、スポーツ振興課お願いします。

スポーツ振興課：スポーツの日の実施につきましては、事業概要にある子どもから高齢者まで、市民がお互いに交流するということで、スポーツフェスティバル事業について、実績や成果、課題等を書かせて頂きました。しかし、スポーツの日の実施については、実施してないということで、評価の方は2としております。スポーツの日の実施につきましては、スポーツの街づくりをさらに推進し、市民の意識を醸成させ、気運を高め、市民に認められるタイミングを見極める必要があると考えておりますので、闇雲にスポーツの日を宣言するのはいかがなものかと考えております。

議長：難しいですね。国も体育の日をスポーツの日に変えるという話をしていますけれども。つくば市はイベントがいっぱいあるので、スポーツの日を本当に実施する必要があるのかという問題はあるんですけども。大運動会でも市を挙げてやれるなら別ですけど。そのあたりは考えていただきたいです。次に「河川敷などのスポーツ的利用」についてはどうでしょう。

スポーツ振興課：河川敷のスポーツ的利用についての関係機関との連携調査ということで、実際のところ舗装された堤防を活用したウォーキングやサイクリングの実施について、情報を収集した程度でございまして、まだ具体的に関係機関との話し合いとか、そういったものが成果としてあがっておりません。今後、具体的な進捗を進めるために、関係機関との情報交換等をさせて頂きまして、利活用の是非、方策について検討し、もし可能な場合には河川敷等を活用したスポーツ的利用について実施したいと考えております。そういった意味で1という評価をさせて頂きました。

議長：これから取り組むということで、距離を書いたものを置いておくだけでもいいんじゃないでしょうか。ウォーキングやジョギングとか1kmごとに。そういうの上手くやってもらえれば。では、最後の「筑波大学とのスポーツ推進

協定の締結」について説明をお願いします。

スポーツ振興課：平成26年に協定を締結しました。また、スポーツ連携推進連絡協議会を平成27年度に一回実施しました。内容は、顔合わせ的なもので、そこから事業等が具現化がされていないということで評価に2をつけました。今後、スポーツ活動の促進やスポーツに関わる調査研究などにおいて、大学が持っている知財等を活用してし、スポーツに関する取組を一体的に進めていければと考えております。

議長：筑波大学は剣道なんかもずいぶん活躍したと聞いています。つくばマラソンを委託するとか、指導者の講習を申し出るとか、大学のITを利用したりとか、いろいろ相談していただければ、協力していただけたと思います。スポーツ教室なども年間400～500くらいやってるはずなんですね。そういうのをうまくつくば市と一緒にやっていければと思います。ちょっと長くなりましたが、いろいろな意見をいただきましたので、ぜひ事業への反映を検討していただいて実施へとつなげていただければと思います。

委員：体育館施設等を作る構想があるのであれば、いままで計画していたものを進めていただければうれしいなと思っていますのでよろしくをお願いします。

議長：本日は多くの課に参加いただいています。いろんな御意見をいただききましてので、ぜひ持ち帰っていただいて、御検討いただきたいと思います。では、進行管理については終わりたいと思います。

(2) 平成28年度スポーツ事業等の概要について

(委員からの意見により、今年度からスポーツ振興課所管になった事業、体育施設維持管理事業、いきいき茨城ゆめ国体事業、スポーツ施設整備事業について、資料に基づき説明した。)

主な意見等

委員：国体について、他の市などでは、旅館、宿泊施設が少ないとの声があるようですが、そのような情報はつかんでいるのか？

事務局：先週、担当者同士の打ち合わせ会があり、その点も話題にあがりました。配宿という制度があり、旅行会社が代理となり、宿舎の割り振りをする。

他の自治体の競技の選手もつくば市に泊まる、そのように予定しています。

委員：他市の関係者は、宿泊施設がなく、つくば市に頼むしかないと考えているようだが。

事務局：旅行会社と宿泊施設が協定書を結ぶようであるが、つくば市内にあるホテルについてはつくば市も関係しながら協力していただくよう進めていきたいと思います。

委員：つくば市の旅館組合や県内の宿泊施設等に国体に関するイベントの情報も流してほしい。

事務局：了解しました。

委員：スポーツ施設整備事業のスポーツ環境をどう整えるかに関して、重要だと思っていて、私は体操競技をやっているんですけど、体操の大きな大会は東京の代々木第一体育館でやっているんですが、改修工事が入るので、来年度の計画が東京の他の体育館や、高崎の駅前に大きなアリーナができるみたいで、そちらの方で、全日本規模の試合が計画されている。そうすると、体操は高崎というの流れになってしまう。そういった意味で、つくばが今後、体操だけでなく、そういったものにどうアプローチしていくのかが重要だと思っている。今、スポーツ関係の話を聞いた時にすごく閉じた感じなんですね。つくば市の中でどうするか、つくば市の人たちをどうするかという話だと思うんですけど、もう少し広い目でみる必要があると思うんです。つくば市の中での活用と言って限られてしまうんです。つくば市だけでは予算規模もそう大きくなりませんので、国、県と世界的な競技団体であったり、企業であったりとそのようなものとどう連携してやっていくのか。スポーツだけでなく文化的な環境も含めて、つくば市全体がどう都市計画していくのかと思う時があります。閉じた中で考えるのではなく、開いたところで、先を見据えて色々考えて頂けたらと思う。

委員：私は駅前ってなると限られてくると思う。土地の購入等をしてきたわけですから、あの土地を全部使わないにしても、スポーツの施設を作って頂けたらと思っています。施設もある程度の大きさがなかったら、税金だけで賄っていくのはたいへんだから、興行もできるというのが、市民にとっても負担がかからないのではないかと考えています。

委員：スポーツ施設でアンケートをやっているとのことですがどう言った内容ですか。

体育施設企画室：スポーツ施設のアンケートは、A4両面のアンケートをしています。今日使った施設についてどう思うか、その施設の利用についてどう思うか、施設の在り方についてどう思うかを表面で聞いています。裏面にいきますと、今度はつくば市全体についてはどう思いますか、というところに色々聞いております。スポーツ環境に満足しているかどうか？見る環境についてはどうでしょう、今後つくば市にどのようなものが必要だと思いますか？既存施設をもし修繕するならば、どういう施設のどういうところを直したいとありますか？そういう質問を基本的に選択肢という形で丸を付けて頂くということでアンケートを行っております。

委員：それは市民アンケートと内容が重なるというか全く別物ですか？

体育施設企画室：集計としては全く別になるかと思うんですけど、聞いている内容としましては、移動手段や所要時間、つくば市の将来にはどんなものが必要だと思いますかなど同じような質問をしている内容もございます。

委員：ぜひ有効に活用してほしいと思います。

委員：やはり市内最大のスポーツ施設であってスポーツイベント施設であるカピオがスポーツ振興課の管轄内でないということにかなり弊害が出ているんですよ。スポーツに関わる用具の修理や修繕というのは、かなり以前から訴えているんですね。競技に差し障る問題、試合中にも何度も問題が起きている状況、過去に正式文書で要望を出しても返答もない状況なんですね。スポーツ振興課

が深く関わらないとスポーツ施設としてかなり受け入れられないのではないかと
思っています。カピオではTwitterなどでイベントの告知をされるんですけど
も、我々の試合の告知は一切されない。コンサートなどのイベントの告知しか
されていない。また、ポスタを持っていくんですが、カピオでやるバスケの試
合ですら貼ってない状況なんです。現状では、カピオをつくば市最大のスポー
ツ施設として進めていくしかないんですから、スポーツ施設の充実度や有効活
用に関しては、もう少し関与を進めていかななくては、スポーツ推進計画とかけ
離れていくのではないかと、懸念しております。

委員：最初カピオは体育施設という希望で進めてきたんです。でも、住民説明
会などを経て地域の人が使えるようなコミュニティー場所をということで、ホ
ール、リハーサル室、会議室なども設置され文化施設という位置づけになっ
た。しかし、委員がおっしゃるようにスポーツで使いたいのはカピオが一番環
境がいい。もう少しそのところを踏まえて、要望等を踏まえて整備する必要
はあるのかなと思う。

委員：スポーツ審議会という立場ではスポーツ振興という観点で関与を高めて
いって、快適に使えるようにしていくのを考えてほしい。

議長：スポーツも文化ですから、スポーツ振興課と文化振興課で連携して進め
ていくのが当たり前なんですからよろしくお願いします。

今日は色々な意見を頂いて、施設の修繕、整備が更に必要というのは、皆さん
認識しているんですから、どうぞよろしくお願いします。

5 その他

特になし

閉 会